



TANABE



ROTARY

District 2640 田辺ロータークラブ

Club Weekly Bulletin

ローターを祝おう

100年の歩み

2004-05年度
国際ローターテーマ
グレン E. エステス・シニア
R I 会長

- 4つのテスト (FOUR WAYTEST)
言行はこれに照らしてから
- (1) 真実かどうか
 - (2) みんなに公平か
 - (3) 好意と友情を深めるか
 - (4) みんなのためになるかどうか

例会日 木曜日 12:30
 例会場 紀陽銀行三階ホール
 会長 辻 啓次郎
 幹事 植田 芳史
 会報委員長 玉井 洋司
<http://tanabe-rc.com/>

承認 昭和28年3月2日
 事務所 田辺市栄町24 〒646-0048
 紀陽銀行田辺支店内
 TEL 0739-24-2002
 FAX 0739-26-0264
 mail tanaberc@mb.aikis.or.jp



「新旧会長幹事」

司会者
辻 啓次郎会長

ソング
君が代
奉仕の理想
ゲスト

ウィジター

本日のプログラム 7/8

「委員会活動計画」

次回のプログラム 7/15

「委員会活動計画」

出席報告

	会員数	欠席者	出席者	出席率
総 数	82名	16名	66名	
出席計算者	71名	12名	59名	83.10%
6月10日修正出席率 86.30%				

メイクアップ

- 6/18 榎本長(三郷)
- 6/25 野村富他10名(白浜)
- 6/30 榎本長(静岡西)
- 6/30 廣本他12名(田辺東)

お祝い

- 会員誕生日 6/27 堀田 7/3 吉田透
 7/6 笹野 7/7 小川
 夫人誕生日 7/5 長井渉江(保夫)
 皆出席 玉井洋(6年)、植田芳(13年)
 古久保(16年)、津村(24年)
 在籍表彰 多屋睦(35年)、植田英(10年)

ニコニコ箱

1年間ご協力有難うございました。……………津村
 1年間津村内閣へのご協力有難うございました。荷稻
 今年1年どうかよろしくお願いします。…辻啓、植田芳
 会長エレクトよろしく申し上げます。……………村上
 会報46号無事発行することができました。1年間ご協
 力有難うございました。……………新藤
 1年間よろしく申し上げます。……………山本、柴田、笹野
 委員会、1年間よろしく申し上げます。……………
 ………………玉井洋、竹本、植田英
 本年も皆様のご協力よろしく申し上げます。多屋平彦
 米山基金もよろしく。……………小山
 ガバナー補佐に委嘱されました。……………畑地浩
 ライラ地区委員になりました。……………坪井
 本年度は世界遺産推進PRプロジェクト外ミュージカよろしく

……………渡部
 親睦委員会にもご協力お願いします。……………渡部
 米山功労賞を頂きました。……………玉置
 乾杯の音頭をとらせて頂きました。……………三前剛
 会場の花頂いています。……………長野
 今年度1年間SAAをよろしく申し上げます…中松
 今年は入れるぜ。……………新井、伊賀

お知らせ

会長報告

- ・本日は、中西力三郎名誉会員が見えら
れていました。
- ・津村前会長、荷稻前幹事一年間ご苦労
様でした。
- ・7月は、識字率向上月間です。
- ・近隣4クラブの会長幹事会が6月21日にありました。
- ・米山奨学生32名が29日の田辺クラブの例会に出席し
ます。暖かくお迎えしたいものです。
- ・地区より委嘱状がガバナー補佐の畑地浩さん、RYLA
委員の坪井敏行さんに来ています。
- ・財団奨学生の田中京子さんは、次週8日の例会にご挨拶
に來られます。



幹事報告

- ・上半期会費の納入をよろしく申し上げます。
- ・ローターレートは、112円です。
- ・R I 人頭分担金が今後3年間半期で2ドルずつ値上げ
されます。
- ・「THE ROTARIAN」の購読希望者は、幹事まで申し出
てください
- ・近隣クラブの週報を回覧します。

委員会報告

プログラム委員会

植田英委員長

・1年間よろしく申し上げます。来週、再来週と各委
員会活動計画の発表よろしく申し上げます。

会報委員会

・本年度1年間、皆様の会報へ掲載させて頂く時の原稿の作成協力よろしくをお願いします。

しょうわ会

・8日午後6時30分より海鮮問屋「丸長」にてしょうわ会を行ないます。参加よろしくをお願いします。

玉井洋委員長

竹本

プログラム



2004-05年度 『会長挨拶』

辻 啓次郎会長

初例会の恒例行事の一つとして、ごあいさつをさせていただきます。

今年、2004年7月1日の本例会から、来年2005年6月30日の最終例会までの丸一年、会長を務めさせて頂くことになりました。我々、田辺ロータリークラブの歴史を振り返りますと、今年で52年目にあたります。これまでの伝統を継承するための礎として、少しでもお役に立てることができればと、願っております。

シカゴで4人の会員から誕生した世界ロータリーも、今年でちょうど100年目にあたり、ひとつの区切りの年でもあります。

今年のR Iのテーマは「Cerebrate Rotary」、「ロータリーを祝いましょう」ということです。私がつけているこのネクタイは、中島ガバナーからいただいたものですが、ここにもそう記されております。

だれかが「何かネクタイのお返しをしなければ」と言った人もいましたが、ガバナーからはすでにたくさんの宿題を与えられており、四苦八苦しているのが現状です。

R I会長はグレン・E・エステス氏で、アラバマ州バーミンガム出身の方です。会長が色々とおっしゃった文章の最後に「奉仕の第二世紀に入ろう。私たちのクラブで、職業で、地域社会で、さらには世界で奉仕に貢献し、ロータリーを祝いましょう」と述べられています。エステス会長がメインテーマとされているのは 1) ポリオ感染防御の完成、2) 仲間を増やそう、3) ロータリー財団への協力 です。また、サブテーマもあり、イ) 水の管理、ロ) エイズやマラリアなどの保健問題、ハ) 識字問題、ニ) ロータリー家族 - という事です。

次に2640地区のガバナーは、泉大津クラブの中島治一郎氏で、以前にも一度ガバナーを務められている方です。R Iの監査運営審査委員もされており、「R Iのお金の動きはなんでも知っているからお教えます」ともおっしゃっていました。

地区協議会でもガバナーは多くのことを述べられていますが、まとまった形での文章は書かれておりませんでした。資料には組織図が書かれているだけでしたので、私なりにまとめたガバナーの方針を述べさせていただきます。

1) 各クラブとも、思いやりの深い人づくりをしましょう、2) 正直かつフェアを重んじる集団として、世間から周知されるクラブの姿勢を守りましょう、3) ク

ラブの長所も短所も分析し、クラブの活性化に生かしましょう、4) 地域の活性化について、各クラブ独自の案を出していただきたい、5) 101委員会は、前窪・前ガバナーに引き続いて存続します。以上です。

我々のクラブにとっては大変おめでたいことなのですが、3人のチャーターメンバーがおられる一方で、会員の高齢化が進んでいます。クラブの在籍年数と会員の年齢数字を足して、85以上が出席免除の対象者となっておりますが、私の例をとっても年齢は68歳で在籍年数は25年(この7月3日)です。すでにその対象になっていきます。われわれのクラブには元気な会員が多く、せめて90に変更してもらわないと、実情に合わなくなってきており、そのためにはロータリーの定款を変更する必要も出てくることとなります。

津村・前会長からは、名誉会長の件、在籍年数による表彰の件、食事時間の変更など、宿題も残されております。是非みなさまのご協力のほどよろしくお願いたします。また、今年度、我々のクラブからガバナー補佐を出すことになりました。この大役を快くお引き受け下さいました畑地さんや、各理事、各委員長の方々には、深く感謝申し上げます。

また、今年度は米山奨学生の訪問や青少年委員会のライラ研修会で、多数の方がこの紀南の地に日帰りて来られます。その折には、どうかご指導ご鞭撻の程よろしくお願申し上げます。

最後になりましたが、最近読んだ五木寛之氏の短文の中に、大変考えさせられる一文がありました。R Iのテーマには「慈愛の種をまきましょう」とか、「手を貸そう」とか「奉仕の理想」といった、人に励ましや生きる力を与える言葉が多いことに気がきます。そこで、仏教用語には「慈悲」という言葉がありますが、最近では、慈悲の「慈」について取り上げられることが多い一方で、慈悲の「悲」が忘れられていると指摘しているのです。慈悲の「慈」は、つまりロータリーの奉仕精神にあたるでしょうが、慈悲の「悲」「かなしい」と書きますが、それは「情け」とか「共に悲しみ、嘆く人の痛みを自分の痛みのように感じる事だ」と言われます。医療の仕事をしていると、このようなことは決して少なくありません。どうしてもない状態の人には、同情こそすれ、励ますことも出来ません。また、心の病をもった人、鬱病の人や登校拒否の子供たちにも、励ましの言葉は禁句です。

イラク戦争では、私はひとつ川柳を詠みました。つまらないものですが...

「自衛隊、職業奉仕もままならぬ」

それはそれで、感謝もされるでしょうが、イラク人同士が殺し合いをしている現状の中では、むなしさだけが残る、まさに「悲」の世界ではないでしょうか。

我々、ロータリアンにとっても、励ましたり与えたりするだけではなくして、人の「悲」(ひ、かなしみ)を感じる心も忘れないようにしたいものです。

私ごときが言うべきことではなく、会員の三谷方外さんに、一度お話をうかがいたいとも思っています。それでは、大変つたない挨拶ではありますが、以上をもちまして、会長の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

